

デジタル印刷機を活用した 高付加価値印刷への 取り組みのご紹介

～表現力豊かに伝え、価値を高める～

遊文舎は、昨年11月18日、Iridesse（イリデッセ）日本初1号機を導入しました。まだ1年未満の試行錯誤ですが、当初『遊文通信』でお伝えした情報より、さまざまに深化させることができました。そのメリットを成果物に基づいてご紹介させていただきます。

▶ 他機種にない大きな特徴

- ①金・銀・メタリックカラーの印刷、表現が簡単にできる。
- ②長尺用紙に印刷が可能で、手間やコストをかけずにスピーディーな対応ができる。



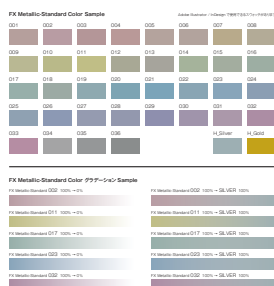
長尺印刷 A4 巻3つ折（仕上がりA4サイズ）

▶ メタリックカラーを使った表現

今回はイリデッセのメタリックカラーを使った表現に絞ってご紹介したいと思います。

特に加工する必要も無く表現出来るメタリックカラーとして、36色が用意されています。また、36色以外の色も作成する事ができ、微妙な違いを表現する事も可能です。もちろん銀色・金色そのままの表現も可能で、発色自体も印刷のメタリックをしのぐ美しさです。

ちょっと目を引きたい印刷物や、より上質な印象を与えたい時、オシャレに表現したい時などに最適な効果を与える事ができ、お客様の求める訴求効果をアップさせてくれる力をもっています。また、少量の印刷物をオフセット印刷すると、5色刷りや



メタリックカラーサンプル

6色刷りになり価格が高騰してしまいましたが、オンデマンド印刷でのメタリックカラーは気軽に発注して頂けます。コストパフォーマンスは抜群です。

メタリックカラーを使った事例

こちらの印刷物は日本料理店のリーフレットです。もともと店舗名の色は金に似せた黄土色でしたが、高級感を出したいとご要望があり、ゴールドを多用した

デザインを提案しました。オンデマンド印刷なので本機色校正もすぐにでき、何種類かの用紙に印刷をして見ていただき、その中から選んでいただきました。今までのリーフレットより高級感が出て喜んでいただきました。



▶ ワンランク上の「美しい」を伝えたい

昨今のデジタル印刷は、好みの問題はありますが、オフセット印刷をも凌駕する画質表現ができ、手に取った方々にハッと感動や美しさを伝える事ができます。そのなかでも特に、イリデッセではトナー粒子をより細かくする事で滑らかな階調表現が可能になり、人肌や空などの滑らかな陰影もより美しく表現出来るようになっています。メタリックのメリットが強調されるイリデッセですが、単なるカラー印刷においても、「ワンランク上の美しさ」の表現力で、お客様の差別化への強力なツールとなり、よりご満足頂けるものと確信しています。皆さまには今後も引き続き、イリデッセの魅力を伝えていけたらと思っています。

（企画営業部 奥村祐哉）

印刷関連団体
の力

OGS 恒例の ビアパーティーに参加

～編集長の diary

遊文舎が所属する印刷関連団体

- **JAGAT**：社団法人日本印刷技術協会
印刷業界専門のシンクタンクとして1967年に創立された経済産業省所管の公益法人。 ▶ <http://www.jagat.jp/>
- **JaGra**：一般社団法人日本グラフィックサービス工業会
1966年に設立された公益法人で、全国900社余りの印刷業者と機資材業者で構成。 ▶ <http://www.jagra.or.jp/official/main/>
- **大印工**：大阪府印刷工業組合
中小企業団体組織法による、大阪府下全域を区域とする唯一の一般印刷業の団体・出資組合。 ▶ <http://www.osaka-pia.or.jp/>
- **OGS**：大阪府グラフィックサービス協同組合
ジャグラの大阪府支部。遊文舎社長は、現在、広報担当理事として積極的に活動。 ▶ <http://www.j-ogs.org/>

今年も最高の盛り上がり

9月13日（木）、OGS（大阪グラフィックサービス協同組合）主催のビアパーティーが、ANA クラウンプラザホテル大阪の5F ガーデンルーム・パティオを借り切って、盛大に開催されました。これは印刷会社・賛助会社向けの福利厚生事業で、毎年約350名の参加を得て、楽しい恒例行事となっています。遊文舎からは社長をはじめ16名が参加。私は昨年一昨年も参加させていただきました。そして今年も最高に盛り上がりました。

印刷業界の方々と

今年も顔なじみの印刷業界の方々が多くお見えになりました。あらかじめ、各社ごとのテーブルが割当てられており、いつもお付き合いのある業者さんとの情報交換、仕事以外のお話など、普段できていないお話をたくさんすることができました。協力会社でもあり、時にはお客様へのサービスの向上の為、切磋琢磨し合うライバル会社にもなりますが、今回はお互いの労をねぎらう場となりました。



熱くなるのはお客様のため

そして、社内の営業や制作など違う部署の方々とも熱く語りあうこともできました。普段仕事で関わりあいますが、印刷業界の方々が集まっただけだからこそ、仕事への思いがヒートアップしたという効果もありました。こうしてほしい、もっとこうした方がよいなど、他部署からの改善の思いや要望は、お酒を酌みかわす雰囲気の中だからこそその率直な声だったと思います。すべては、より良いものをお客様に提供でき、より満足していただくという方向に収れんしていきました。

今後も楽しい刺激を

楽しいひと時はあっという間に過ぎました。

お付き合いのある業者さんや社員同士との語らいは、色々な刺激を与えてくれたとともに改めて、関わってくださる方々の協力なしでは、良いものを作っていけないと思いました。OGSの今後の行事にも参加させて頂きたいと、ここから思いました。担当理事の皆さん、このような場をつくっていただきありがとうございました。今後とも何卒よろしくお願いいたします。

（企画営業部 増田啓介）

● 編集後記 ●

酷暑の上に地震・台風と大変な夏でしたが、遊文舎も雨漏りやマシン倒壊などの被害を受けました。同様に被災された皆様には心よりお見舞い申し上げます。

『遊文通信』の編集長として9月でちょうど1年を迎えることができましたが、これからも遊文舎を身近に感じていただけるような紙面づくりにむけて注力してまいりますので、宜しくお願い申し上げます。

（おっくん）

☒ 今月の紙 ☒

アヴィオン ハイホワイト
菊判／62.5kg